

# インターネットネット利用による ドライバー適性診断事業実施

## ACTIVE KUMIAI



適性診断説明会

昨今、トレーラー又は大型トラックの事故が、全国的に多発しており、痛ましい重大事故につながるケースとなっている。

現状、組合員にはそのような重大事故はないが、いつ気のゆるみから大きな事故に結びつくとも限らない。

気のゆるみが無くても、いかに適切な行動がとれるか、その判断力を養わなければならない。ドライバー

の適性が更に問われるときである。

組合では、適性診断として、ドライバー採用時における初認診断、3年に一度の一般診断、65歳以上を対象とした適齢診断と3段階の診断を受け万全を期している。

一般診断について、従来は独立行政法人自動車事故対策機構山梨支所より組合へ出向いて診断をしてもらうという形式だったが、本年度より、組合事業として、組合がインターネットを活用した適性診断システム「ナスバネット」を導入し、組合員に貸し出すことによって、効率の良い診断事業として、更なるドライバーの教育訓練の場にしたいたいと考えている。

安心安全な輸送、又、対車、対人間との重大事故につながらないよう心がけ、「トラックが心で運ぶ安心・安全良い環境」をモットーに努力していく。

運転適性診断とは

ドライバーが気付かずにいる運転上の特性(クセ)を見いだし、安全運転に役立つようきめ細かなアドバイスを行うもので、主として自動車運送事業者のドライバーを対象に適性診断を実施しており、自動車の事故防止に役立っている。



適性診断機器